

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語総合 1
科目基礎情報					
科目番号	1114H41	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	一般教養	対象学年	4		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	AFP SciTech Futures (SEIBIDO)				
担当教員	勝藤 和子, 藤井 浩美				
到達目標					
1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読み解き、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
到達目標1	社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解し、語彙や内容についての質問に8割以上正しく答えることができる。	社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解し、語彙や内容についての質問に6割以上8割未満の正答率で答えることができる。	社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解が不十分で、語彙や内容についての質問に対する正答率が、6割未満である。		
到達目標2	教材の番組の音声のディクテーションにおいて、8割以上の正答率で、空所の語句を聞き取り、綴ることができる。	教材の番組の音声のディクテーションにおいて、6割以上8割未満の正答率で、空所の語句を聞き取り、綴ることができる。	教材の番組の音声のディクテーションにおいて、空所の語句を聞き取ってつづる場合、正答率が6割未満である。		
到達目標3	各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文をほぼ正確に書くことができる。	各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文を空所補充の形式で書くことができる。	各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文を空所補充の形式で書くことがほとんどできない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	社会的、または科学的な話題を取り扱った英語視聴覚教材の音声・映像とそのスク립トを通して社会現象や科学技術の基本用語を含む英文の聴解力・読解力を高める。また登場した語彙や文法の重要事項を習得した上で、各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文に応用することができる。				
授業の進め方・方法	予習では、映像を見ておく。その上で、Vocabulary、Finding the Topicに取り組んでおく。授業では、Checking The Script、Comprehension を映像を視聴しながら予習で扱ったVocabulary、Finding the Topicの解答と解説を行う。次に教員がそのUnitのPinpointの重要語句、構文を、スライドを視聴しながら説明する。復習では、Presenting the Contentsの音声を聞いて空所を埋め、和訳をし、Further Investigationに取り組む。 【授業時間30時間+自学自習時間60時間】				
注意点	1. 授業には英和辞書(電子辞書可)を持参すること。 2. オリエンテーション時に説明する方法で、自学自習として予習復習を十分行うこと。 3. 教材の動画を自分でも視聴できる環境を整えておくこと。 4. ポートフォリオは、課題の取り組み状況(内容)を評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション Unit 1	学習方法についての理解 1. 社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解し、語彙や内容についての質問に答えることができる。 2. 教材の番組の音声のディクテーションにおいて、空所の語句を聞き取り、綴ることができる。 3. 各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文に応用することができる。	
		2週	Unit 1	1. 社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解し、語彙や内容についての質問に答えることができる。 2. 教材の番組の音声のディクテーションにおいて、空所の語句を聞き取り、綴ることができる。 3. 各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文に応用することができる。	
		3週	Unit 2	1. 社会的・科学的な話題のニュース動画を視聴して、内容、文法、文の構造を理解し、語彙や内容についての質問に答えることができる。 2. 教材の番組の音声のディクテーションにおいて、空所の語句を聞き取り、綴ることができる。 3. 各ユニットで扱っている表現のポイントを理解し、与えられた情報(グラフ、図表など)について説明する英作文に応用することができる。	

	16週	【学年末試験】	
--	-----	---------	--

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
		英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3		
		実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3		

評価割合

	試験	小テスト	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	60	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0